

大会規定

東京都少年サッカー連盟第 14 ブロック
2024 年度版

2024/03/29

目次

大会共通規定	3
1. 参加資格	3
2. 競技規則	3
3. 表彰	5
4. 組み合わせ	5
5. その他	6
大会別規定	8
<<東京都U-12サッカー14ブロックリーグ>>	8
1. 参加資格	8
2. 競技規則	8
<<JFA 全日本 U-12 サッカー選手権大会 東京都大会 14 B ブロック予選>>	9
1. 参加資格	9
2. 競技規則	9
<<J A 東京カップ東京都5年生サッカー大会 14 ブロック予選>>	10
1. 参加資格	10
2. 競技規則	10
<<ハトマークフェアプレーカップ東京都4年生サッカー大会 14 ブロック予選>>	11
1. 参加資格	11
2. 競技規則	11
<<14 ブロック 5 年生大会>>	12
1. 参加資格	12
2. 競技規則	12
<<14 ブロック 4 年生大会>>	13
1. 参加資格	13
2. 競技規則	13
<<TOMA S 東京都3年生サッカー交流大会 14 ブロック予選>>	14
1. 参加資格	14
2. 競技規則	14
<<14 ブロック 3 年生大会>>	15
1. 参加資格	15
2. 競技規則	15
8人制競技規則	16
1. 人数について	16
2. 交代の手続き	16

3. 不正入場に関して	16
4. 補助審判について	17
5. P K戦について	17
6. その他	17
ユニフォーム規定	18
<ユニフォーム>	18
<ユニフォームの色彩>	18
<ユニフォームへの表示>	19

大会共通規定

1. 参加資格

- ① 当年度、(財)日本サッカー協会第4種及び女子(小学生)に登録したチームで、活動拠点が14ブロック内(小平市・東村山市・東大和市)であること。
- ② 14ブロック役員会で承認されたチームであること。
- ③ チームの構成は単一チームに限られ、年間を通じて継続的に活動していること。
- ④ 選手は(財)日本サッカー協会に個人登録を済ませてあるものに限る。
注：2年生以下の選手においては、(財)日本サッカー協会への個人登録は任意であるが、可能な限り登録すること。また、3年生以上の大会に出場する場合は登録を済ませる必要がある。
- ⑤ 年間を通してスポーツ傷害保険に加入していること。

2. 競技規則

- ① 試合は、当年度「日本サッカー協会競技規則」に準ずる。
- ② 試合がトーナメント戦の場合、両チームが同点の場合には、3人ずつのPK方式とする。
注：東京都大会へ推薦する大会の場合、**代表が決まる試合については前後半各5分の延長戦を行った上、同点の場合はPK戦にて決定する。延長戦に入る前のインターバルは、5分とする。**
- ③ リーグ戦の順位は1.勝ち点(勝ち…3・引き分け…1・負け…0) 2.得失点差 3.総得点 4.当該チームの直接対決 5.抽選の順で決定する。

参考試合(試合不成立)が発生した場合の取り扱い

東京都少年サッカー連盟主催大会については、14ブロック委員長預かりとして東京都少年サッカー連盟の裁定による。

14ブロック独自大会は当該チームを除いたチームにて順位を決める。(当該チームの試合は全て無効とする)

- ④ ベンチに入る選手数は制限無しとする。自由な選手交代とする。
- ⑤ ベンチに入る監督及びチーム役員は2名以上、5名までとする。
- ⑥ ベンチ入り指導者のうち、U12-リーグ戦・ハトマークフェアプレーカップ・JFA東京カップ
JFA全日本U-12サッカー選手権・TOMAS3年生交流大会については、最低2名の(財)日本サッカー協会認定D級指導者資格以上あること。また、複数チーム出場のベンチ入り指導者の重複は認めない。

その他、ブロック独自大会のベンチ入り指導者については、上記資格取得者最低1名以上とし、複数チーム出場のベンチ入り指導者の重複は可とする。

- ⑦ 特記なき限り14ブロック制定の選手登録表を使用し、当該第1試合開始30分前迄にJFA選手登録証と一緒に本部に提出すること。

注：試合毎に選手の背番号が変わる場合は、当該試合開始30分前までに選手登録表を本部へ提出すること。

⑧ 2学年下の選手を出場させる場合は、健康管理・安全管理に関し、代表者・監督が十分に考慮する。

⑨ 大会中に退場処分を受けたものは、次の試合に出場できない。

(警告回数が2に達した場合も同処置とする)

東京都U-12サッカーブロックリーグにおいて、東京都少年サッカー連盟競技運営に則る。(同一リーグにおいて警告累積3回は次の試合に出場出来ない。累積は前期・後期リーグ終了時に消滅する)

⑩ 大会の試合中に退席処分を受けたチームの監督及びチーム役員は、次の試合にベンチに入ることにはできない。

⑪ 給水タイムを用いる場合、アディショナルタイムにカウントする。(作戦タイムではない。約1分を目安とする。)

但し、夏期で開催する大会で、WBGT値28℃以上の場合でのクーリングブレイク(3分)を設ける場合は、ピッチ及びベンチからの移動、戦術的指示も認める。

⑫ 8人制大会のコートサイズは、6年生大会と5年生大会(68m×50m)、4年生以下の大会(60m×40m)が望ましいが、固定式のゴールやグラウンドの面積が足りない場合には、その限りではない。

⑬ 試合球は、4号球ボールとする。スパイクは固定式に限る。ゴールは、少年用とする。

⑭ 試合を担当するチーム帯同審判員は、審判証を携帯し(スマホ等によるアプリでの提示も可とする)、試合開始前に本部に提示すること。

また、正しく審判服(上下とも正規の審判服であること)を着用し、装飾品(指輪、ネックレス等)は外すこと。

⑮ 14ブロック主催の大会では、同一チームで2チームの参加を認める。ただし、TOMAS3年生大会予選は複数チームエントリーを認めない。2チーム参加の場合は、権利を得れば2チームとも中央大会に出場することが出来る。

全日本予選、フェアプレーカップ予選における複数チームエントリーについては、東京都の規定に則り、該当学年のみで合計20名以上の登録選手がいる場合とする。また、J A東京カップ5年生大会については、該当学年のみで32名以上の登録選手がいる場合とする。いずれの場合も、登録選手は2チームとも該当学年のみとし、下級生を含むことはできない。

なお、14ブロック独自開催の大会(3年生・4年生・5年生)については、該当学年のみで17名以上の登録選手がいる場合、複数チームエントリーを認める。ただし、1チームに6名以上は当該学年の選手を登録しなければならない。

注(補足)

・2チーム参加の場合、代表者会議開始前までに14Bメンバー表を運営部へ提出する。

・抽選では、同一母体チームの一次リーグ戦は、チーム同士の対戦をしない組合せを考慮するが、二次リーグ戦以降は考慮を行わない。

・対象学年の年度の最初の大会でのシードチームで2チーム参加の場合、1チームはシードチーム

の扱いを行うが、他の1チームは通常の抽選を行う。対象学年の次大会のシードチームは、前回の大会の結果で決定する

- ・2チーム参加チームが会場提供の場合で3チームリーグ×2以上の試合ができる場合、会場チームとの調整で同一会場の調整を行う場合がある。
- ・2チームが同一リーグになった場合、同一母体チーム試合の審判割当にならないように出来るだけ組合せを調整する。
- ・チーム名は 母体チーム名+アルファベット1文字とする。

⑩ 14ブロック独自開催の大会（3年生・4年生・5年生）では、以下の条件を満たせば合同チームでの出場を認める。

- ・合同チームとなるいずれかのチームの当該学年の選手が4人未満
- ・合同チームとなるいずれかのチームの当該学年の選手が1学年下の選手を含めても12人以下
- ・事前にメンバー表を提出して14ブロック承認を得ること（試合当日も押印済のメンバー表を提出すること）
- ・当該学年で12人以上の選手がいる場合、下級学年の選手は登録できない
- ・当該学年の選手が12人未満の場合、下級学年の選手を登録できる。下級学年選手の登録人数に制限はないが、試合当日は最大12人の登録として、参加可能な当該学年選手を優先的に登録したうえで不足する人数分、下級学年の選手を登録できる。
- ・極力、登録選手全員を試合に出場させる
- ・チーム名は代表チーム名（ブロック登録チーム名）とする
- ・ユニフォームはブロック規定通り（ビブスの着用は認めない）
- ・ベスト8以上となっても、いずれのチームにも次大会のシード権を与えない（U-12前期リーグの割り当てを含む）

⑪ 審判については、各チーム2名の審判員を帯同させる事。（審判部及び本部で行う場合あり）

- ・審判4審制を採用する大会で4チームリーグの場合は、試合対戦以外のチームで行うこと。

3チームリーグの場合は、主審・第4の審判員を試合対戦以外のチームにて行い、副審を対戦チームよりそれぞれ1名で行うこと。

※例外規定 U12リーグ戦で1試合のみを実施する場合、当該2チーム了承の上、当該チームで主審・副審を決定して試合を行うことが出来る。

- ・審判1審制+補助審を採用する大会で4チームリーグの場合は、試合対戦以外のチームで行うこと。

3チームリーグの場合は、試合対戦以外のチームにて主審・補助審の2名で行うこと。

- ・14ブロック全ての大会において、審判員の眼鏡着用は認めない。

（スポーツ眼鏡の着用については認める）

3. 表彰

1位～4位チーム…トロフィー・賞状

4. 組み合わせ

- ① 14ブロック代表者会議にて抽選を行う。

- ② 同一学年の前大会の上位 8 チーム（フェアプレーカップ予選については上位 6 チーム）をシードとする。

前大会のブロック大会ベスト 4 チームを第 1～4 シードとし、第 1 シードから順に一次リーグの 1 組～1 2 組の抽選を行う。抽選では 第 1 シード～第 4 シードは 二次リーグで対戦しない一次リーグの組に割り当てる。

残りの 4 チームを第 5 シードとし、抽選により一次リーグの各組みに分散して組み入れる。

注：一次リーグで他のシードと対戦しない。

（前大会が都合により、中止や打ち切りで上位 8 チームが決まらなかった場合には、該当する大会まで遡りその大会結果を採用する。）

但し、前大会でベスト 8 進出が決まっているチームがある場合には、そのチームを次大会シードチームとする）。

全大会とも、全参加チームで抽選を行う。

- ③ 代表者会議には、チームの代表者 またはその代わりの者が必ず出席すること。
④ 会議には決定権のある代表者または、代表権のある者が出席すること。

5. その他

- ① 夏期に開催される大会での熱中症対策については、2016 年 6 月 30 日付【「熱中症対策ガイドライン」における 1 4 ブロックの対策について】に準ずる事とする。
② 大会規定、競技規則（少年連盟大会要項・ハンドブック参照）に違反する選手ならびにチーム、また審判や、本部、及び会場等へ懲戒罰行為をした選手、監督、コーチ代表者、父母等関係する参観者は、その内容によって処分される。
③ 試合途中での天候不良（ゲリラ豪雨・雷雨）により、試合続行が不可能と判断した場合は、以下の措置で対応する。

◆試合途中で中止となった場合の措置

得点差	前半終了まで	前半終了時点	後半開始～終了まで
同 点	再試合	再試合	再試合
2 点差以内	再試合	再試合	再試合
3 点差以上	再試合	再開試合	再開試合

※ 1. 中断試合で発生した試合での懲戒罰は、再試合に持ち越さない。

※ 2. 中断試合で再開試合の場合のベンチ入り選手については、追加は出来ない。

※ 3. 再試合、再開試合の場合のベンチ入り指導者の変更については、可能とする。

※ 4. 再試合、再開試合の場合の審判員変更については、可能とする。（変更が生じる場合は、事前に両チームへ連絡すること）

※ 5. 再試合は、前半から試合を実施する。再開試合は、後半から試合を開始する。

- ④ インフルエンザや新型コロナウイルスの影響により選手が 8 人揃わない場合には、可能な限り試合日程を再調整する。しかしながら、大会日程の都合で再調整が難しい場合には、棄権（参考試合）として扱う。

大会別規定

<<東京都U－12サッカー14ブロックリーグ>>

1. 参加資格

6年生以下で編成されたチームであること（東京都U－12ブロックリーグ用の選手登録表を使用すること）。

2. 競技規則

- ① 大会方式は東京都U－12サッカーリーグ1部・2部・3部参加チームを除いた参加可能なブロック加盟チームにて、前期リーグ → 後期リーグを実施する。
 - 1) 前期リーグは全参加チームで行い、原則9チーム以上のリーグ戦にて実施する。**前期リーグの組分けは、前年度後期リーグの結果と対象学年の直近大会の成績を考慮して決定する。**
 - 2) 後期リーグは前期リーグの成績により原則9チーム以上のリーグ戦にて実施する。
 - 3) 各リーグは幹事・副幹事チームを選出し、参加チームが協力してリーグ運営を行う。
 - 4) 前・後期リーグ戦は、参加チームが各々会場を提供して行う。4月上旬から12月下旬までの開催とする。各ブロック加盟チームは、予めブロックより決められた指定日に、各ブロックの会場提供の不足を除き、試合を実施する。試合は、原則 土曜日・日曜日・祝日の開催とする。各ブロックの加盟チームは、指定日に会場提供を行うこと。加盟チームは最低、月に1日間（出来れば半日以上）の会場提供を行う義務がある。会場提供が出来ない加盟チームは各ブロック幹事チーム・副幹事チームへ連絡する事。チーム使用の会場が狭い場合、幹事・副幹事チームへ連絡して、了解を得ること。指定日免除・解除条件は14B版細則を参照。
1日の試合数は1チーム最大2試合まで、連続する土日2日間で3試合までとする。
 - 5) 試合時間は、前期リーグ、後期リーグ共に40分（前後半20分・インターバル5分）とする。
- ② 8人制による競技とする。（4審制）
別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。
- ③ 後期リーグ戦A組1位～4位の内1チームを14B委員長の推薦で、東京都U－12サッカーリーグ2部昇格戦への出場資格を得る（原則は1位チーム）。委員長の推薦基準は、14B運営への協力度、東京都U－12サッカーリーグ1部・2部の大会運営規則の運営等が出来ると認めたチームとする。

<<JFA 全日本 U-12 サッカー選手権大会 東京都大会 14 Bブロック予選>>

1. 参加資格

東京都U-12サッカー14ブロックリーグに参加しているチームで、6年生以下で編成されたチームであること。事前登録した選手のみ出場できる。

2. 競技規則

- ① 大会は東京都U-12サッカーリーグ1部参加チームを除いた、東京都U-12サッカーリーグ2,3部参加チーム及びU-12サッカー14ブロックリーグに参加したブロック加盟チームにて実施する。
 - 1) トーナメント戦とし、東京都U-12サッカーブロックリーグ・前期リーグでの成績によりシードを決める。参加チームが会場を提供して行う。
 - 2) 試合時間は全試合40分（前後半20分・インターバル5分）とする。但し、1日3試合の場合は30分（前後半15分・インターバル5分）とする。
- ② 8人制による競技とする。（4審制）
別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。
- ③ 決勝トーナメントの1～4位を JFA 全日本 U-12 サッカー選手権東京都大会に推薦する。

＜＜ J A 東京カップ東京都 5 年生サッカー大会 1 4 ブロック予選 ＞＞

1. 参加資格

5 年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、3 or 4 チームリーグ（原則 3 チームリーグ）にて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝トーナメントは 4 チームにて順位を決する。
トーナメント戦が同点で終了した場合は、P K 方式(3 名)により勝者を決定する。3 位決定戦は 1 0 分(前・後半 5 分)の延長戦を行う。
対象学年の直前大会の上位 8 チームはリーグ戦の組合せシードとする。
該当の 8 チームが無い場合、対象チームのみシードとする。
シードの組合せは、大会参加チーム数で決定する。
- ② 試合時間は、1 日 2 試合以内は 4 0 分（前後半 2 0 分・インターバル 5 分）1 日 3 試合の場合は 3 0 分（前後半 1 5 分・インターバル 5 分）とする。
- ③ 8 人制による競技とする。（4 審制）
別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。
- ④ 決勝トーナメントの 1 ～ 3 位を東京都中央大会に推薦する。
大会のベスト 8 は対象学年の次大会のシードとなる。

<<ハトマークフェアプレーカップ東京都4年生サッカー大会 14ブロック予選>>

1. 参加資格

4年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、3 or 4 チームリーグ（原則3 チームリーグ）にて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝トーナメントは4 チームにて順位を決する。

トーナメント戦が同点で終了した場合は、P K方式(3 名)により勝者を決定する。3 位決定戦は1 0 分(前・後半5 分)の延長戦を行う。

対象学年の直前大会の上位8 チームはリーグ戦の組合せシードとする。

該当の8 チームが無い場合、対象チームのみシードとする。

シードの組合せは、大会参加チーム数で決定する。

- ② 試合時間は、4 0 分（前後半2 0 分・インターバル5 分）とする。1 日3 試合の場合は3 0 分（前後半1 5 分・インターバル5 分）とする。
- ③ 8 人制による競技とする。（4 審制）
別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。
- ④ 決勝トーナメントの1～3 位をフェアプレーカップ中央大会に推薦する。
- ⑤ 大会のベスト8 は、対象学年の次大会のシードとなる。

<< 14ブロック 5年生大会 >>

1. 参加資格

5年生以下で編成されたチームであること。

(次年度U12-東京都U-12サッカーリーグ1部及び2部参加チームも出場出来る)

2. 競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、3 or 4 チームリーグ（原則3 チームリーグ）にて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝トーナメントは4 チームにて順位を決する。

対象学年の直前大会の上位8チームはリーグ戦の組合せシードとする。

該当の8チームが無い場合、対象チームのみシードとする。

シードの組合せは、大会参加チーム数で決定する。

- ② 規定を満たせば合同チームでの出場を認める。
- ③ 試合時間は、30分（前後半15分・インターバル5分）1日の試合数は3試合以下とする。
- ④ 8人制による競技とする。（4 審制）
- 別紙、試合の時刻表で審判の割当を行う。
- ⑤ 当大会のベスト8は、対象学年の次大会のシードとなる。
- ⑥ 当大会の成績は次年度の東京都U-12サッカー14ブロックリーグの組合せに反映する。

<< 14ブロック 4年生大会 >>

1. 参加資格

4年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、3 or 4 チームリーグ（原則 3 チームリーグ）にて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝トーナメントは 4 チームにて順位を決する。

14 B ハトマークフェアプレーカップの上位 8 チームはリーグ戦の組合せシードとする。

該当の 8 チームが無い場合、対象チームのみシードとする。

シードの組合せは、大会参加チーム数で決定する。

- ② 規定を満たせば合同チームでの出場を認める。
- ③ 試合時間は、30 分（前後半 15 分・インターバル 5 分）とする。1 日の試合数は 3 試合以下とする。
- ④ 8 人制による競技とする。（4 審制）
別紙、試合の時刻表で審判の割当を行う。
- ⑤ 当大会のベスト 8 は、対象学年の次大会のシードとなる。

<<T O M A S 東京都3年生サッカー交流大会 14ブロック予選>>

1. 参加資格

3年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、3 or 4 チームリーグ（原則3 チームリーグ）にて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝リーグまたは、トーナメントは4 チームにて順位を決する。

対象学年の直前大会上位8 チームはリーグ戦の組合せシードとする。

該当の8 チームが無い場合、対象チームのみシードとする。

シードの組合せは、大会参加チーム数で決定する。

- ② 試合時間は、30分（前後半15分・インターバル5分）とする。1日の試合数は3試合以下とする。なお、1日3試合実施する場合は、24分（前後半12分・インターバル5分）とする場合がある。

- ③ 8人制による競技とする。（1審制+補助審判1名）

別紙 試合の時刻表で審判の割当を行う。

- ④ 大会のベスト6は、対象学年の次大会のシードとなる。

- ⑤ この大会の上位6チームを中央大会に推薦する。

<< 14 ブロック 3年生大会 >>

1. 参加資格

3年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

- ① 大会方式は一次リーグ全参加チームで行い、3 or 4 チームリーグ（原則 3 チームリーグ）にて実施する。その結果によりリーグ戦、若しくはトーナメント戦を行い、決勝リーグまたは、トーナメントは 4 チームにて順位を決する。
- ② 規定を満たせば合同チームでの出場を認める。
- ③ 試合時間は、30 分（前後半 15 分・インターバル 5 分）とする。1 日の試合数は 3 試合以下とする。なお、1 日 3 試合実施する場合は、24 分（前後半 12 分・インターバル 5 分）とする場合がある。
- ④ 8 人制による競技とする。（1 審制＋補助審判 1 名）
別紙 試合の時刻表で審判の割当を行う。
- ⑤ 大会のベスト 8 は、対象学年の次大会のシードとなる。

8 人制競技規則

1. 人数について

- ① 前半の試合開始時には、両チームはフィールド上に、8 人の競技者が必要となる。両チームとも 8 人いなければ、試合は開始されない。
- ② 試合の進行中に、一方または両方のチームがフィールド上に 8 人いない場合でも、試合は続行される。
- ③ 試合終了時、フィールド上に 6 人未満の場合は、試合は不成立となる。なお、主審の許可を得て、用具を正すまたは負傷の処理で一時的に 6 人未満の場合はその限りではない。なお、速やかに復帰または交代して、6 人以上の競技者にするものとする。
- ④ 退場を命じられた場合は、交代要員の中からすぐに補充できる。主審は競技者の補充が行われる間は、試合を停止する。

2. 交代の手続き

- ① 交代して退く競技者は、交代ゾーン（両ベンチ間のハーフウェーラインから左右 3 M）からフィールド外に出る。
 - ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、行う事ができる。
- ※①～③までの交代については、主審、補助審判の承認を受ける必要はない。
- ④ ゴールキーパーについてはアウトオブプレー時に主審に通告して行うことができる。交代して退くゴールキーパーは、主審から指示された場合を除き、境界線の最も近い位置からフィールドを出なければならない。代わりに入るゴールキーパーは交代ゾーンからフィールドに入る。
 - ⑤ 怪我の場合には、主審のコントロールにより、交代ゾーン以外（どこからでもフィールドを離れてもよい）から退出できる。

注：ゴールキーパーの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに代わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。

- ⑥ 4 審制の場合にはハーフウェーラインから副審とは逆サイド側だけに 3m の交代ゾーンを設置する。審判員と交代選手の衝突を防ぐために副審(A1)側には交代ゾーンを設置しない。

3. 不正入場に関して

選手の入替えの際、交代要員が先にフィールド内に進入した場合、選手が戦略的に意図をもって進入したと主審が判断した場合のみ、不正入場した選手に警告（反スポーツ的行為）が与えられる。

不正入場を防止するために、チームにて選手に指導をすること。

交代は、該当選手同士で行うことが望ましいが、ベンチより監督、またはコーチが声で合図をし

ても良い。

4. 補助審判について

- ① 補助審判は、交代の手續が円滑に行われるように主審を援助する。
(競技者が交代ゾーンから出てから、交代要員が入ることを監視し指導する。)
- ② フィールド内の選手に交代することを伝える必要はない。

5. P K戦について

トーナメント戦でその試合の勝敗をつける場合には、両チーム3人ずつのP K戦を行う。3人ずつのキックを行い、同点の場合にはサドンデスとする。

6. その他

- ① キックオフシュートが直接相手ゴールに入った場合、相手チームのゴールキックで再開する。
- ② 上記以外の規則に関しては、日本サッカー協会競技規則に準ずる。

ユニフォーム規定

本規定においてユニフォームとは、シャツ、ショーツ、およびストッキングの3点を総称したものを言う。

<ユニフォーム>

- ① ユニフォームは、上衣（シャツ）、下衣（パンツ）、ストッキングの全てを正・副2着を用意し、チーム名と選手固有の番号が入らなければならない。ただし、キーパーユニフォームについては番号を特定しないことができる。※

また、戦術的な理由で前後半で GK を交代させる可能性がある場合は、パンツおよびストッキングはフィールドプレーヤーユニフォームとすることができる。

※ 従来は、キーパーがフィールドプレーヤーとして出場する場合は、特定の番号のフィールドプレーヤーユニフォーム正副とキーパーユニフォーム正副が必要であったが、キーパーユニフォームについては同一番号のフィールドプレーヤーがいなければ、誰でもが、そのキーパーユニフォームを着用して出場できる（背番号の管理はフィールドプレーヤーユニフォームの番号による）。また、背番号のないキーパーユニフォームの着用も認める。
ただし、中央大会では適用されないので注意する。

例) 21 番のキーパーユニフォームの正副があり、その番号のフィールドプレーヤーがいなければ、どの選手でも 21 番のキーパーユニフォームを着て出場できる。

- ② 14B3年生大会に於いては、副がない場合にはビブスの着用を認める。
③ 東京都 U - 12 サッカーブロックリーグと他の 14B 主催の大会が重複する場合、東京都 U - 12 サッカーブロックリーグの副の準備は免除する。また、両チーム同色になった場合、緊急避難的にビブスの着用を認める。

<ユニフォームの色彩>

- ① チームのユニフォームシャツ（ゴールキーパーのユニフォームを含む）の色彩は、審判員が通常使用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。

※フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともにユニフォーム（シャツ）の主たる色彩が黒色は不可とする。

- ② フィールドプレーヤーのユニフォーム前面と背面の色彩は同じであるものとする。また、デザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同色系であれば着用することができる。
③ 主審が、対戦するチームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）の色彩が類似しており、判別しがたいと判断したときには、主審は、両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォーム又はビブス等を着用することを決定する。

- ④ 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびストッキングのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

※14ブロック大会においては、試合前に対戦するチームの代表者同士が話し合い、本部に確認した後、判別しやすい組み合わせで準備をすること。

- ⑤ アンダーシャツ、アンダーショーツ、タイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑥ 頭部保護のためのヘッドバンドの着用を認める（反発性のない素材のものに限る）。
- ⑦ フィールドプレーヤーの帽子の着用は認めない。ただし、酷暑期などで審判が着用を認めた場合を除く。

<ユニフォームへの表示>

ユニフォームにはチーム名・選手番号を必ず表示するものとする。

① チーム名

- (1) チームエンブレム シャツの左胸100cm²を越えないサイズ
- (2) チーム名をエンブレム以外で表示する場合はシャツ前面または左胸300cm²
- (3) チームエンブレムはショーツ・ストッキングに表示することができる。
- ショーツ 左右どちらか一ヶ所50cm²を越えないサイズ
- ストッキング 左右一ヶ所ずつ50cm²/一ヶ所

② 選手番号

- (1) 選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩（服地が縦柄の場合には台地を付ける）であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (2) 選手番号を付する場所およびサイズは、次の通りとする。
- 背番号サイズ 20cm×20cm～35cm×35cm
- ※身長150cm以下の選手等が着用する小さいユニフォームの場合は、サイズを適宜縮小することができる。
- 胸番号サイズ 8cm×8cm～15cm×15cm（右、左又は中央）
- ※選手番号は、固有の番号とすること。フィールドとキーパーを兼任する選手は、同番号のフィールドユニフォームとキーパーユニフォームを用意すること。3年生大会でも、同様とする。
- (3) 番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。登録選手が100名以上の場合に限り、100以上の番号を認める。

（平成25年度全日本少年サッカー大会14ブロック予選より施行）

チームで用意するユニフォーム例

（フィールドプレーヤー [以下 FP]、ゴールキーパー [以下 GK]）

FP、GKとも、ユニフォームシャツの主たる色が黒色を使用することを禁止とします。

FP、GKとも、それぞれ正副、異なる色のユニフォームを用意する。

FP、GKとも、背番号と胸番号の入ったユニフォームを着用する。

<正しい例>

F P 正：赤（上）、白（下）、赤（ストッキング） 副：青（上）、青（下）、青（ストッキング）

G K 正：黄（上）、黄（下）、黄（ストッキング） 副：緑（上）、緑（下）、緑（ストッキング）

<失格となる例①>

F P 正：赤（上）、白（下）、赤（ストッキング） 副：青（上）、白（下）、青（ストッキング）

G K 正：黄（上）、黄（下）、黄（ストッキング） 副：緑（上）、緑（下）、黄（ストッキング）

<失格となる例②>

F P 正：青（上）、白（下）、黄（ストッキング） 副：赤（上）、赤（下）、白（ストッキング）

G K 正：紫（上）、赤（下）、赤（ストッキング） 副：緑（上）、緑（下）、黄（ストッキング）

変更履歴

更新日	変更内容
2022/03/26	<p>2021 年度版からの変更点は以下</p> <p>大会共通規定</p> <p>1. 参加資格 注：2 年生以下の選手登録に関する記載（修正）</p> <p>2. 競技規則 ⑤ 2021 年度のベンチに入る監督及びチーム役員の数（3 名）の記載（削除）</p> <p style="padding-left: 40px;">⑮ 5 人制の場合の参加チーム数に関する記載（削除）</p> <p>4. 組み合わせ ② 5 年生交流大会のシードチーム数（12 チーム）についての記載（追記）</p> <p>大会別規定</p> <p>共通で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021 年度は 15 分ハーフで実施する旨についての記載。（削除） ・シードの対象となる大会についての記載（修正） ・1 日の試合数（3 試合以下）についての記載（修正） <p>東京都 U-12 サッカー 14 ブロックリーグ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・※チーム数については、9 チーム以下になる場合あり。の記載（削除） ・後期リーグの試合時間についての記載（修正・削除） <p>JFA 全日本 U-12 サッカー選手権大会 東京都大会 14 B ブロック予選</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手登録表についての記載（削除） <p>J A 東京カップ 東京都 5 年生サッカー大会 14 ブロック予選</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トーナメント戦の順位決定方法。（修正） <p>ハトマークフェアプレーカップ 東京都 4 年生サッカー大会 14 ブロック予選</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合時間についての記載（修正） <p>14 ブロック 5 年生大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シードチーム数についての記載（修正） <p>14 ブロック 4 年生大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合時間についての記載（修正） <p>TOMA S 東京都 3 年生サッカー交流大会 14 ブロック予選</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合時間についての記載（修正） <p>14 ブロック 3 年生大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合時間についての記載（修正）
2022/11/02	<p>TOMA S 東京都 3 年生サッカー交流大会 14 ブロック予選</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シードの取り扱い（修正） <p>直前大会上位 6 チーム → 直前大会上位 8 チームはリーグ戦の組合せシードとする。</p> <p>大会のベスト 8 → 大会のベスト 6 は、対象学年の次大会のシードとなる。</p>

2023/03/25	<p>2022 年度版からの変更点は以下</p> <p>大会共通規定</p> <p>1. 参加資格 注：2 年生以下の選手登録に関する記載（修正）</p> <p>2. 競技規則 ⑮ 複数チームエントリーについての記載に整理（修正）</p> <p>⑰ 3 ピリオド制大会細則（削除）</p> <p>4. 組み合わせ ② 5 年生交流大会のシードチーム数（12 チーム）、TOMAS3 年生大会のシードチーム数についての記載（修正）</p> <p>大会別規定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ U-12 リーグ戦の大会方式で U-12 サッカーリーグ参加チームに 3 部を追記 ・ U-12 リーグ戦の開催時期を日付から「4 月上旬から 12 月下旬」の表現に変更 ・ U-12 リーグ戦の試合時間について 40 分→30 分に修正 ・ 全日本 U-12 サッカー選手権大会の参加資格を追記 ・ J A 東京カップ東京都 5 年生サッカー大会に大会方式（3 ピリオド制廃止）変更に伴う修正 ・ 5 年生交流大会のシードチームの取り扱いについて修正 ・ 3,4,5 年生大会のシードの取り扱いについて追記
2024/03/23	<p>2023 年度版からの変更点は以下</p> <p>大会共通規定</p> <p>2.⑪、5.① 7 月～9 月→夏期に表現を変更</p> <p>2.⑮ 複数エントリーの表現修正</p> <p>2.⑰ 合同チームでの大会参加規定を追記</p> <p>5.④ インフルエンザ及び新型コロナウイルスの影響に伴う対応を追記</p> <p>大会別規定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ U-12 リーグ戦のチーム数を 9 チーム以上→原則 9 チーム以上に変更 ・ U-12 リーグ戦の試合時間について、30 分→40 分に修正 ・ ハトマークフェアプレーカップ東京都 4 年生サッカー大会の試合時間について、30 分→40 分に修正 ・ 3, 4, 5 年生大会について、合同チームでの参加条件を追記 ・ 5 年生大会の試合時間について、40 分→30 分に修正 <p>ユニフォーム規定</p> <p>① GK のユニフォームについて、パンツとソックスは FP と同色が可能となる条件を追記。</p> <p>⑥⑦ ヘッドバンドおよび帽子について、着用規定を追記</p>